

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2015.2.26 No.185

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>



区民の切実な要望を聴取 陳情審査を実施

## 公営住宅を増設し住宅問題の解消を!

公営住宅の増設や老朽化への対応は住民の切実な要望となっている。



### 「狭き門」公営住宅を増やして

都市環境委員会では、区営住宅の増設を求めるところに関する陳情を審議しました。

現在、区営住宅の応募倍率は十倍を超え、入居できない住民が数多くいます。また、住宅の老朽化も大きな問題です。

区営住宅や高齢者・障がい者の福祉施設の増設、改築・改修は住民の切実な要望となっています。

この結果、委員会に付託された陳情は、残り三本（継続審査中や既に願意が満たされた等）となりました。

党区議団が常任委員会の委員長を務める都市環境委員会では、委員会に付託された三本の陳情を審査、一本を処理しました。

この結果、委員会に付託された陳情は、残り三本（継続審査中や既に願意が満たされた等）となりました。

### 積極的な陳情審査を実現 開かれた議会運営を目指して

この間、杉並区議会の請願・陳情の審査率が極めて低く、二十三区の中でワースト二位であることなどが大きな問題となっています。

住民の権利を侵害する現状を改善するため、現在開会されている区議会第一回定例会において、党区議団は請願・陳情審査率の向上に取り組んでいます。

### 審査に背を向けた保健福祉委員長…

私が所属する保健福祉委員会においても、請願・陳情が19本付託されています。現時点でも署名が寄せられている陳情などもあり（児童館の存続を求める署名は今議会で3500筆を超えた）、速やかな審査が必要です。今議会で委員長（公明党・島田議員）に対して、陳情審査を求めたところ

- ・ 付託されている陳情は、現時点では審査は困難、また、慎重に取り扱うべき段階にある。
- ・ 議員の任期満了に伴い廃案となることも承知しているが、単に放置しているわけではない。
- ・ 今後も区の置かれる状況を踏まえつつ、適宜・適切に判断する。

などと、答弁。事実上、陳情審査に背を向けました。住民の権利を侵害する重大な問題です。

### 「公営住宅不足の認識なし」 住民の実態を把握しない区…

質疑では「所得が下がるなど困難を抱えた住民が公営住宅に入居できない」問題をとり上げ、区の認識を質したところ、区は「民間住宅をあっせんしており、不足しているとは思っていない」と答弁。住民の実態を掴んでいない誠実な対応に終始しました。

区の姿勢は極めて不十分ですが、住民の要望が直接、議会に示されることにより、問題を顕在化させることになりました。

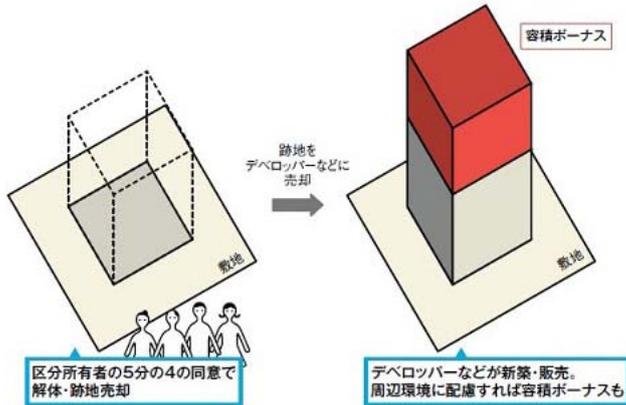
引き続き、積極的な請願・陳情審査を実現するために力を尽くします。

# 耐震不足マンション 多数決で強制売却可能に…

## 跡地を売却したら 土地開発の種地に

敷地を売却後、一定の条件を満たせば、容積率が緩和され、不動産業者や開発業者はマンション開発が可能となります。（※地域により都市計画で高さ制限があります。）

日経アーキテクチュア（2014年6月20日付）の資料を抜粋。



# 生活基盤が失われる事態も…

国会において「マンション建替えの円滑化等に関する法律（マンション敷地売却法）」が成立。当区議会でも関連条例が提案され、審議が行なわれましたが、賛成多数で可決。党議員団は反対しました。

## やみくもな建替えではなく 地域環境と購入者を守るべき

国や区は、制度の導入の理由を「地震に対する安全性が確保されていないマンションの建て替え等の円滑化を図る」としています。しかし、多数決により強制売却を可能とする極めて問題のある制度です。

今後、耐震性の不足など老朽化が進んだマンションでは、所有者の五分の四が同意すれば、建物の解体と跡地売却が認められるようになります。

「ここに残りたい」とする所有者の五分の一の住民に対しては、補償金などを支払えば、強制的に売却することが可能となり、生活基盤が失われることも懸念されます。

また、この法律の真の目的は、マンション売却・解体による跡地活用に、デベロッパー（開発業者）など、資金力のある企業参入を促進する意味があります。今求められることは、やみくもに建替えを急ぐのではなく、適切に管理し長く使う視点です。また、行政は地域の環境と購入者を守る必要があります。

## 育メン日誌

何でも手を出す時期…気を付けねば！

娘の性格は妻に似たのか「もの凄く活発、&「自己主張が激しい」です。こんなことを言うと叱られそうですが（苦笑）。今、あらゆるものに手を出す時期で、ハラハラしています。「だめっ」と言っても、決して諦めないため写真のような事態が発生します。子どもが怪我をしないように気を付けなければなりませんね。しかし、この苦労も子育ての楽しみの一つです！



時計を取ろうとしたのですが…

鼻をぶつけてしまいました（泣）。手が届く場所にあったのが良かったです。反省です。

## ～4年間を振り返って～② 当選後、直ちに東日本大震災対応へ

当選直後は、3. 11東日本大震災への対応が緊急の課題になりました。全都の議員団のなかで先頭を切って被災地救援を行ない、5月上旬に最初の支援に入りましたが、被災地の状況は、想像を絶するものでした…。被災地では現地の町議と連携し、被災住民の要望聞き取り、区内から寄せられた支援物資・募金を届けました。

その後も機会がある度に被災地に赴き、延べ11回にわたる被災地支援を実施。救援物資と募金650万円を届けました。

放射能問題への対応では、区内95施設、670カ所の調査を実施。四宮の森公園などでミニホットスポットなどを発見。行政による全地域調査や、ミニホットスポットでの除染を実施させるなど、大きく区を動かしました。



被災地での体験を今後の人生の重石とします。引き続き被災地支援に取り組みます。